

I 事業の状況

〔1〕奨学事業

1.応募状況および選考結果

(1) 奨学生の選考、決定

一般奨学生については、2021年2月17日開催のリモートによる選考委員会において、推薦を依頼した13校からの奨学生候補者24名について選考審査を行い、18名を選定し理事長が採用を決定した。

また、渡日前採用奨学生については、推薦を依頼した2校からの奨学生候補者8名について、2020年12月5日開催のリモートによる選考委員会において、3名を選定し理事長が採用を決定した。決定した合計21名の奨学生については、推薦のあった大学・高校に通知した。

(2) 2020 年度奨学生

2020年度の奨学生は一般、P.B.Sに渡日前採用奨学生を加えて合計65名で、その内訳は、大学・大学院奨学生45名、渡日前採用奨学生20名、P.B.S奨学生0名である。

〔奨学生内訳〕

区 分		前年度 実績	新規 採用者	継続者	2020 年度 実績	前年 対比
一般奨学生	学部・大学院	53	18	27	45	-8
P.B.S(Post Bachelors Scholarship) 奨学生		1	0	0	0	-1
渡日前採用奨学生		16	3	17	20	4
計		70	21	44	65	-5

(3) 奨学金の支給

① 奨学金贈呈式

奨学生への奨学金贈呈式をコロナ禍の影響により中止した。

② 奨学金の支給

本年継続の奨学生44名および新規奨学生21名に対し、月額18万円の奨学金を2020年4月～2021年3月まで12ヶ月間支給した。

また、中国からの新規渡日前採用奨学生3名については、2020年10月～2021年3月までの滞在費月額18万円及び、渡航支度金、大学入学金等の援助金として108万円を支給した。

2. 奨学援助費（合計） 139,860,000円

3. 学業および生活状況調査

2020年4月、継続奨学生に成績証明書および研究（学業）報告書を提出させた。

また、6月、10月に奨学生と個別に面談し、勉学の状況、成果の現況および生活状況の報告を受けた。

4. 交流活動事業等

(1) 奨学生交流会

- ・2020年6月予定の奨学金贈呈式・第1回交流会はコロナ禍の影響により中止
- ・2020年8月予定の研修旅行は2021年3月6日に卒業式の後にオンラインにて実施した。
- ・2020年10月予定の交流会はオンラインにて実施した。
- ・卒業式は2021年3月6日にオンラインにて実施した

(2) オンライン俳句交流会

2020年12月21日 奨学生14名参加

(3) おせちの会

2020年12月末日本文化体験の為、お節料理の云われ等の資料を添えてお節料理を奨学生自宅へ送った

奨学生54名参加

(4) 奨学生交流誌の発行

奨学生間、奨学生と財団の交流に資するため、2020年5月交流誌を発行した。

〔2〕 研究助成事業

1. 主要日程

- ①2020年 4月1日 2021年度募集開始
- ②2020年 6月5日 「奨励研究助成」受付締切り
- ③2020年 6月26日 「研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉」受付締切り
- ④2020年 8月27日 第1回選考委員会（書類審査）
- ⑤2020年 9月23日 第2回選考委員会（面接審査）
- ⑥2020年 10月7日 助成採択者理事会承認
- ⑦2020年 12月15日 第8回贈呈式、研究者育成助成研究発表会

なお、2020年3月3日開催予定の第5回若手研究者の集い、奨励研究助成研究発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一旦延期としたが、その後も開催の目途がたたないため、中止とした。

2. 応募状況

項目	研究者育成助成 〈ロッセ重光学術賞〉	奨励研究助成	合計
大学	国公立大学 12件 私立大学 3件 計 15件	国公立大学 102件 私立大学 29件 計 131件	146件
その他 研究機関	0件	7件	7件
計	15件	138件	153件

3. 採択者一覧 資料A参照（別添）

4. 研究助成金（合計） 182,100,000円

5. 選考概要

①選考方法

従来通り「食と健康」に関連した幅広い分野からの申請があり当助成事業の選考委員8名全員で申請書全件の書面審査を行い、選考委員会にて活発な議論を交わしたうえ、最終候補者を決定した。なお、「研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉」においては、まず書面審査で2名を選考し、後日、面接審査を実施した。

②観点

「研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉」については、申請者が将来自身の研究分野を切り拓き、同時に切り開いた研究分野を先導し、社会のために広く貢献していける能力を有する研究者かどうか、さらに、「食と健康」の分野でどのように将来を展望しようとしているのかに主眼をおいて審査を行った。

「奨励研究助成 A」および「奨励研究助成 B」は、将来、国際的に活躍する可能性を秘めた、優秀で志の高い若手研究者を対象としており、自然科学から人文・社会科学までの広域にわたる「食と健康」の分野において、研究上の独創性、チャレンジ性、萌芽性および将来性について審査を行った。

③ 選考結果

2020年8月27日の第1回選考委員会にて、「奨励研究助成 A」の助成対象候補者26名、「奨励研究助成 B」の助成対象候補者15名および「研究者育成助成」の面接候補者を選出、続いて9月23日の第2回選考委員会にて、「研究者育成助成」の助成対象候補者1名を面接審査にて選出した。その後、10月7日の理事会において正式に採択を決定した。

6. その他

- ・第3回研究者育成助成 助成対象者の田村秀紀氏が、2021年4月1日より星薬科大学准教授として就任
- ・第4回同助成対象者の佐々木伸雄氏が、2021年4月1日より群馬大学教授として就任

第8回(2021年度) 助成採択者

※所属機関・職位は2020年12月現在のもです。(五十音順・敬称略)

研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉

●新規助成者

	氏名	所属機関・職位	研究課題	受入機関	育成支援教員
1	戸田 安香	明治大学研究・知財戦略機構 日本学術振興会 特別研究員(PD)	甘味・旨味受容体T1Rsの進化と食性の多様化の関わり方の解明	明治大学農学部 農芸化学科 食品機能化学研究室	専任准教授 石丸 喜朗

●継続助成者

	氏名	所属機関・職位	研究課題	受入機関	育成支援教員
1	佐々木 伸雄	慶應義塾大学医学部消化器内科 特任助教	腸管上皮幹細胞の制御機構における味覚受容体の役割	慶應義塾大学医学部消化器内科	教授 金井 隆典
2	伊達 公恵	お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション研究所 特任講師	食品成分による高血糖抑制機構の解明：腸内機能性糖鎖の制御による健康長寿	お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系	教授 相川 京子
3	應本 真	東京工業大学バイオ研究 基盤支援総合センター 特任講師	多様な味が生じる機構の分子基盤の確立	東京工業大学 バイオ研究基盤支援 総合センター	准教授 廣田 順二
4	今 理紗子	星薬科大学生体分子薬理学 研究室 特任講師	腸内細菌と水輸送タンパク質の相互作用解析；プロバイオティクスの個別化を目指して	星薬科大学 生体分子薬理学研究室	教授 亀井 淳三
5	佐々木 崇	東京大学大学院農学生命科学研究科 特任助教	骨格筋における摂食応答の分子基盤解明と筋機能改善への応用	東京大学大学院 農学生命科学研究科	教授 佐藤 隆一郎
6	山口 裕嗣	名古屋大学環境医学研究所 ストレス受容・応答研究部門 特任助教	絶食や食品成分により誘導される冬眠様低代謝状態の神経基盤の解明	名古屋大学 環境医学研究所	教授 山中 章弘

奨励研究助成(A)

	氏名	所属機関・職位	研究課題
1	上田(石原) 奈津実	名古屋大学大学院理学研究科 生命理学専攻 講師	カロリー摂取法が初期認知症様症状に与える影響の検証
2	ASIKIN YONATHAN	琉球大学農学部亜熱帯生物資源科学科 准教授	フードミクス解析による南西諸島・台湾在来相模の遺伝的多様性と食品機能の解明
3	伊藤 綾香	名古屋大学環境医学研究所 分子代謝医学分野 助教	細胞内脂質による免疫応答の制御機構と自己免疫疾患予防への応用
4	伊藤 智和	名古屋大学大学院生命農学研究科 講師	非天然・分割型代謝経路の構築によるビタミンB ₆ の発酵生産
5	井上 和哉	東京都立大学人文社会学部 心理学教室 准教授	なぜ健康食品を過度に信じてしまうのかー真実性効果とその個人差による検討
6	岩崎 有作	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 動物機能学研究室 教授	食後腸ホルモンGLP-1の迷走神経→脳軸を介したインスリン抵抗性改善作用の解明
7	上田 通	立命館大学BXC社系研究機構 専門研究員	食育の哲学的探求と教科書開発 ー子どもにとっての「良き食生活」の実現へー
8	大石 絵美	九州大学大学院医学研究院 衛生・公衆衛生学分野 学術研究員	腸内細菌叢組成と認知症および生活習慣病発症との関連：久山町研究
9	大城 隆司	東京農工大学大学院農学府・農学部 特任講師	ケトジェニック環境下におけるGPCRを介した新規代謝制御メカニズムの解明
10	小野 大輔	名古屋大学環境医学研究所 講師	食と運動が脳に及ぼす影響とその睡眠覚醒調節メカニズムの解明
11	補山 讓二	東北大学学際科学フロンティア研究所 新領域創成研究部 助教	子供世代の健康増進を目的とした栄養と運動の協調制御による胎盤機能賦活プログラム
12	河野 邦江	島根大学医学部皮膚科学講座 特別協力研究員	小麦主要アレルゲン ω -5グリアジン欠失小麦の実用化
13	朋ヶ嶺友梨子	東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 助教	ガム咀嚼が歯周病と口腔機能に与える影響
14	坂中 哲人	大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座 助教	咀嚼を介した食と口腔細菌叢の相互作用による慢性疾患への影響と個別化栄養への展開
15	酒寄 信幸	広島大学大学院医系科学研究科 口腔生理学研究室 助教	多価不飽和脂肪酸が脳内報酬系に与える影響の解明
16	福崎 良仁	東京農工大学大学院グローバルイノベーション研究院 特任助教	新奇変異体を利用したトマトのうま味成分蓄積機構の解明と育種への応用
17	新村 毅	東京農工大学農学部生物生産学科 准教授	福祉的飼育システムが採卵鶏の中枢-末梢-畜産物に及ぼす影響のランドスケープ
18	田浦 学	大阪大学大学院薬学研究科 生体応答制御学分野 助教	インフラマソーム応答を制御するアミノ酸の同定とウイルス感染症治療への応用
19	田中 充	九州大学五感応用デバイス研究開発センター 准教授	食品成分の体内動態解析のための可視化定量法の構築
20	鳥羽 大陽	富城大学食産業学群 講師	近未来のお米【高い生産性と美味しさを両立した新品種】を育成する基盤技術開発
21	原田 有理子	東京女子医科大学 国際環境・熱帯医学講座 助教	ネパールでの学童に対する口腔保健推進・栄養改善のための「イイ歯プロジェクト」
22	東阪 和馬	大阪大学大学院医学系研究科 特任講師	食品用途に使用されるナノマテリアルの腸管の恒常性におよぼす影響解析
23	古澤 之裕	富山県立大学工学部教養教育センター 准教授	腸内発酵により酪酸を高産生する食物繊維の探索
24	古水 千尋	熊本大学大学院先端科学研究部 基礎科学部門 特任助教	人と地球にやさしく強いトマトを作る！トマトの病害線虫認識機構の解明とその応用展開
25	村田 航志	福井大学学術研究院 医学系部門脳形態機能学分野 助教	嗅覚を介した食欲・嗜好形成の神経メカニズム
26	夜久 圭介	富山大学学術研究部医学系分子医科薬理学講座 助教	NAD代謝と腸内細菌叢の相互作用を介したサルコペニア発症機構の解明

奨励研究助成(B)

	氏名	所属機関・職位	研究課題
1	阿部 仁	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 准教授	発芽野菜のカルシウム蓄積機構の解明とその機能性野菜への展開
2	新井 康之	京都大学医学部附属病院 検査部・細胞療法センター 助教	骨髄移植後の食事摂取による腸管細菌叢の変化と腸管GVHD発症リスクの解析
3	稲生 大輔	金沢大学医薬保健研究域医学系 助教	オキシトシンイメージングにより迫る、食と幸せの脳内情報処理機構
4	大多 哲史	静岡大学学術院工学領域 電気電子工学系列 助教	高機能作物栽培に寄与する土中イオン濃度リアルタイム計測用小型核磁気共鳴センサ開発
5	小笠原 理紀	名古屋工業大学生命・応用化学専攻 准教授	運動効果の発現分子および筋機能改善サプリメントとしての乳酸の機能検証
6	梶谷 彩子	お茶の水女子大学基幹研究院 リサーチフェロー	1920年代フランスにおけるガストロノミー、地方主義、ツーリズムの影響関係
7	鈴木 一浩	東京都医学総合研究所 統合失調症プロジェクト 協力研究員	妊娠期の食事中Glycemic Indexが胎児の神経発達に与える影響の解明
8	鈴木 龍樹	東北大学多元物質科学研究所 助教	食品色素として利用可能なキノコ由来青色色材の開発
9	田原 祐助	九州大学五感応用デバイス研究開発センター 准教授	味覚修飾物質を利用した味設計ツール技術の構築
10	中川 裕子	実践女子大学生活科学部 食生活科学科 准教授	大豆タンパクを使用した肉ゲルの嗜好性検討ー力学的特性および咀嚼嚥下特性との関連ー
11	野口 泰司	名古屋市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学分野 研究員	食の多様性は高齢者の介護予防に貢献するか？：大規模縦断研究
12	真柄 仁	新潟大学歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部 講師	咀嚼が変わる、嚥下調整食のこれから
13	牧野 良輔	愛媛大学大学院農学研究科 特任講師	糖化反応の阻害による低タンパク質飼料を給与したニワトリの産肉性維持の試み
14	山口 聡一郎	北海道大学大学院獣医学研究院 基礎獣医学分野 准教授	褐色脂肪細胞に高発現する酸味受容体がエネルギー代謝調節に果たす役割の解明
15	山根 拓実	東京農業大学応用生物科学部 食品安全健康学科 助教	食事時のタンパク質源の違いが褥瘡発症に及ぼす分子メカニズムの解明

II 処務の概要

1. 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	付議事項	会議の結果
2020年5月29日 第42回	1. 「2019年度事業報告および計算書類等承認」の件 2. 「内閣府への事業報告等に係る提出書類承認」の件 3. 「評議員会招集承認」の件 4. 「評議員選任に関する議案概要承認」の件 5. 「役員選任に関する議案概要承認」の件 6. 「研究助成事業選考委員選任承認」の件 7. 「顧問選任承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2020年6月23日 第43回	1. 「代表理事及び業務執行理事選定承認」の件 2. 「議決権行使に関する承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2020年10月7日 第44回	1 「2021年度研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉助成対象者」承認の件 2. 「2021年度奨励研究助成（A）助成対象者」承認の件 3. 「2021年度奨励研究助成（B）助成対象者」承認の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2021年3月15日 第45回	1. 「2021年度事業計画・積立金取崩し・収支予算・資金調達および設備投資の見込みを記載した書類承認」の件 2. 「2020年度特定資産取崩し承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決

(2) 評議員会

開催年月日	付議事項	会議の結果
2020年6月12日 第9回	1. 「2019年度決算承認」の件 2. 「評議員改選承認」の件 3. 「役員改選承認」の件 4. 「理事長（非常勤）及び常勤役員報酬承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決

(3) 選考委員会

①奨学事業

開催年月日	付議事項	会議の結果
2020年9月18日 第1回	1. 「議事録署名人選出」の件 2. 「2020年秋採用奨学生選考面接及び先行審議」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2020年12月5日 第2回	1. 「議事録署名人選出」の件 2. 「中国渡日前採用奨学生(2021年度大学入学)候補者決定」の件 3. 「奨学金支給期間延長奨学生候補者決定」の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
2021年2月17日 第3回	1. 「議事録署名人選出」の件 2. 「2021年度一般採用奨学生候補者決定」の件	全会一致で承認・可決

②研究助成事業

開催年月日	付議事項	会議の結果
2020年8月27日 第1回	1. 「2021年度研究者育成助成 面接候補者決定」の件 2. 「2021年度奨励研究助成(A)助成対象候補者決定」の件 3. 「2021年度奨励研究助成(B)助成対象候補者決定」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2020年9月23日 第2回	1. 「2021年度研究者育成助成対象候補者決定」の件	全員一致で承認・可決

Ⅲ 新型コロナウイルスによる事業等への影響

2020年に入り新型コロナウイルスが猛威を振う中、財団の運営、事業も多大な影響を受けております。

奨学事業では2020年6月に予定しておりました奨学金贈呈式は中止を余儀なくされ、その後の催事予定についてはリモート対応により実施を致しました。

研究助成事業においても、選考会議や贈呈式は全てリモート形式で実施しました。

又、理事会等については、決議の省略の方式による手続きを行いました。

今後、新型コロナウイルスの与える社会的な影響を踏まえて財団の運営に当たり、柔軟な対応を行っていく所存です。

事業報告に係る附属明細書

記載する事項無し

以上